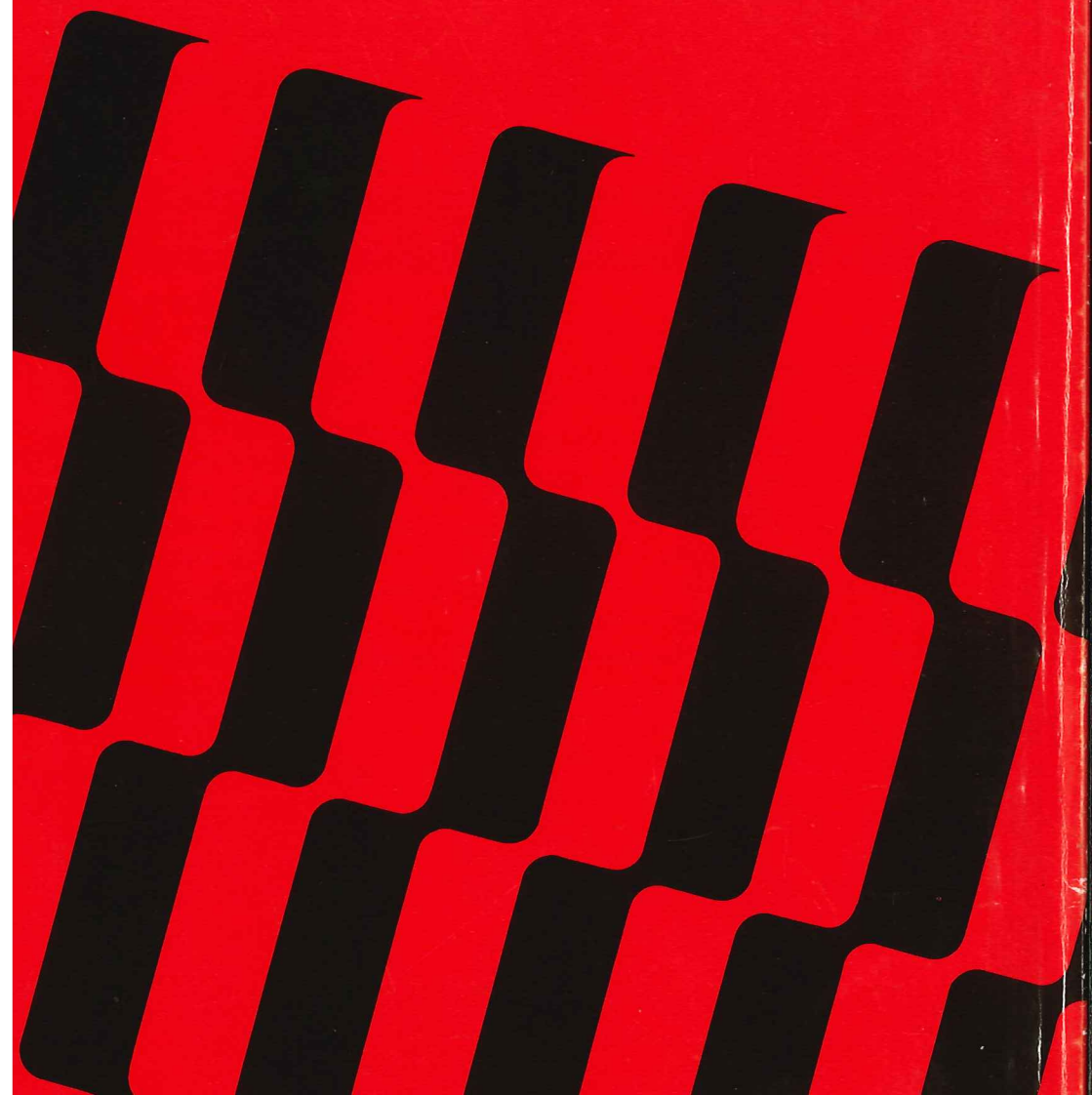


成溪會誌

1989・6 No.69



成蹊学園近況

(成蹊学園
総務課提供)

大学の近況

◇平成元年度

地域懇談会の開催

大学では、毎年、全国各地で地域懇談会を実施しています。

地域懇談会では、大学と在学生父母との懇談会の後、地域在住の同窓生を交えた懇親会を開催し、交流を図ることにしています。

本年度は次の四地区で開催します。

対象地域在住の父母の皆さんには、参加方法等、別途案内しますが、大勢の同窓生の皆さんの参加を期待しています。

◇情報処理センターの現状

情報処理センターは、学生の教育はもとより、研究・事務分野を含めて、現代社会に即応できる総合情報処理システムの確立、拡充を中心に幅広い活

開催日	開催地	会場	対象県
六月十七日(土)	福岡市	福岡ファッションビル	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄、山口
七月一日(土)	広島市	広島グランドホテル	鳥取、島根、岡山、広島、山口
九月三十日(土)	高松市	高松グランドホテル	香川、愛媛、徳島、高知、岡山
十月七日(土)	松本市	松本東急イン	長野、山梨

動を行う本学の中核機関として、昭和五十六年四月の開校以来、これまで二回の機種更新を実施し、性能及び容量とも一段と充実してきました。

昨年十月に実施した二度目の機種更新では、センターの中心となる大型計算機のほか、これに接続される端末装置も、より高性能の機種に入れ替えました。これらの端末装置群により、複数の利用者が一台の大型計算機を同時に利用できるばかりでなく、装置自身も独立したパソコンとしても利用できます。また、この機種更新に伴い、昨年十一月二十五日(金)に、新システムの一一般公開を行いました。参加者はこれまでの一一般公開に比べ最も多く、情報処理に対する関心が近年ますます大きくなっていることがうかがえます。

入れ替えた端末装置はパソコン単体としての機能も充実しており、BAS I C言語等のプログラミング言語はもとより、日本語ワープロ、表計算等、豊富なソフトウェアも用意されていて、工学部のみならず経済学部、文学部、法学部の文系学部の授業にも大いに利用されています。また、授業で利用されるセンターの端末室にはパソコン端末が四十九台設置されているので、学

生一人が一台を専有する環境のもとで、実際に装置を操作しながら受講することができます。これらの情報処理関係科目の一斉授業は、学期中は、センターが利用できる九時から十九時(土曜日は十七時)までの間に、毎日行われています。

◇就職状況

昭和六十三年度は、史上空前と言われた売り市場に恵まれ、就職先も好調だった前年度を上回る内容となっています。

上場企業への就職率(民間企業就職者中での割合)では、文科系学部で六〇%と初めて六〇%台に達し、工学部では七二%と二度目の大台に乗り、全体では六二%で前年度を六%上回っています。

産業別での特色は、製造業界の復興・拡大を反映して、本学でも製造業への就職率の増加が顕著に表れており、その就職率は三七%(前年比・八%増)、中でも工学部では七二%(前年比・一八%増)となっています。反面前年度躍進の目立った金融・保険業への就職率は一九%(前年比・七%減)と後退しています。(成蹊大学学長室)

中学・高等学校の近況

◇中学・高等学校の卒業式

三月十一日(土)には高等学校の卒業式、十九日(日)には中学校の卒業式が挙行されました。今年は両日も春らしい晴天に恵まれ、門出にふさわしい日でした。

◇中学・高等学校の入学式

本年の高等学校卒業生は、男子百九十六名、女子百四十名、計三百三十六名で、成蹊大学各学部をはじめ、別表のとおり大勢の諸君が大学進学を果たしました。

また、中学校の卒業生は、男子百五十六名、女子百名の計二百五十六名で、大部分が成蹊高等学校へ推薦入学することになりました。

本年は昭和が終わる、平成元年と年が改まったわけですが、卒業生諸君は、改元の年最初の卒業生となったわけです。

松田満夫校長は、卒業式当日の告辞で、「平成」という年号のことにふれ、「内平らかにして外成る」という史記の言葉とは別に、「内なる目」と「外なる目」との共存・調和、広い視野の

上に立って、内と外とのバランス感覚のとれた国際人としての活躍を説かれました。

暖冬の影響でしょうか。桜前線もいつになく足早に通りすぎて、満開の桜が散りはじめた四月七日(金)、中学・高等学校の入学式が挙行されました。

平成元年最初の入学式を前に、松田満夫校長は、「心力歌第二章」の冒頭を引用され、「心に力ありといへども、養はざれば日に減ぶ」の言葉について説かれました。

何事も基本を大切に、常に向上しようとする「心の力」を奮い立た

主な就職先(3名以上入社)

(1.3.31現在)

企業名	就職者数			企業名	就職者数			企業名	就職者数		
	経・文・法	工	計		経・文・法	工	計		経・文・法	工	計
三菱電機	16	4(5)	20(5)	内田洋行	2	3	5	三菱地所	3	1	4
日本航空	12		12	サッポロビール	5		5	三菱重工業	2	2(1)	4(1)
沖電気工業	7	4	11	住友信託銀行	5		5	横河電機	1	3(1)	4(1)
日本アイ・ピー・エム	4	7	11	全日本空輸	3	2	5	伊藤忠商事	3		3
日本電気	5	5	10	太陽神戸銀行	5		5	大林組	2	1	3
C S K	9		9	高島屋	5		5	鐘紡	2	1	3
大和証券	8	1	9	東京海上火災保険	5		5	佐藤工業	2	1	3
日立製作所	5	4(1)	9(1)	北海道拓殖銀行	4	1	5	シャープ	3		3
富士銀行	9		9	三菱商事	5		5	清水建設	2	1(1)	3(1)
富士通	5	4	9	安田火災海上保険	5		5	住友銀行	3		3
そごう	8		8	山一證券	4	1	5	住友商事	3		3
三菱自動車工業	3	5	8	レナウン	5		5	住友スリーエム	2	1(1)	3(1)
明治生命保険	7	1	8	アサヒビール	4		4	西武百貨店	3		3
和光	8		8	I N A X	4	(1)	4(1)	積水ハウス	2	1	3
第一勧業銀行	7		7	伊勢丹	3	1	4	大正海上火災保険	3		3
日興証券	7		7	小田急百貨店	4		4	大成建設	3		3
日本団体生命保険	7		7	キヤノン	3	1(1)	4(1)	竹中工務店	3		3
横河・ヒューレット・パカード	5	2	7	中央信託銀行	4		4	電気化学工業	3		3
旭硝子	3	3	6	東京銀行	4		4	戸田建設	1	2	3
ソニー	5	1	6	東京電気	2	2	4	日産自動車	2	1(1)	3(1)
大日本印刷	4	2	6	ニコソ	2	2(1)	4(1)	日本エヌ・シー・アール	1	2	3
東芝	2	4(2)	6(2)	ニチアス	2	2	4	日本電信電話	2	1	3
日本交通公社	6		6	日商岩井	4		4	間組	1	2	3
日本モーター	5	1	6	日本紙パルプ商事	4		4	服部セイコー	3		3
日本ユニシス	4	2	6	富士ゼロックス	2	2(3)	4(3)	富士重工業	2	1	3
三井銀行	6		6	丸井	4		4	松下電工	3		3
三井信託銀行	6		6	三井不動産販売	4		4	三菱樹脂	3		3
三菱金属	4	2	6	三菱化成	4	(2)	4(2)	三菱レイヨン	1	2	3
三菱信託銀行	6		6	三菱銀行	4		4	安田信託銀行	3		3
リコ	2	4(1)	6(1)	三菱鉱業セメント	3	1	4	横浜銀行	3		3

() 内は、大学院生数で外数

昭和63年度(平成元年3月卒業)高等学校卒業生の主な進路

卒業生総数 336			進学者数 236			その他(予備校等) 100			
進学者数内訳									
1. 成蹊大学 168			2. 国公立大学 13		3. 私立大学 49		4. 短期大学他 6		
主な進学先 (平成元年3月及びそれ以前の卒業生を含む)									
大 学 名			入学者数	大 学 名		入学者数	大 学 名		入学者数
成蹊大学	経済学	学部	87	公立大学	横浜市立大学	2	私立大学	亜北杏埼産昭聖拓多玉東東東東日日日明明	111

(1.5.1 現在)

(1.5.1 現在)

所 属			在 学 生 数			教 職 員 数		
			男	女	計	専 任	非常勤	計
大 学 院	大 学 院	工 学 研 究 科	76	2	78			
		経 済 学 研 究 科	0	2	2			
		法学政治学研究科	11	2	13			
		文 学 研 究 科	3	7	10			
		経 営 学 研 究 科	8	3	11			
学 部	学 部	学 長	—	—	—	1	—	} 546
		経 済 学 部	1,414	361	1,775	43	} 334	
		工 学 部	1,268	105	1,373	87		
		文 学 部	267	1,473	1,740	41		
		法 学 部	1,256	416	1,672	40		
	小 計		4,303	2,371	6,674	212	334	546
高 等 学 校		623	431	1,054	48	19	67	
中 学 校		482	272	754	41	18	59	
小 学 校		448	271	719	32	5	37	
養 護 教 諭		—	—	—	6	—	6	
事務・技術・労務職員						192	—	192
合 計			5,856	3,345	9,201	531	376	907

(1.3.31 現在)

		(1.5.31現在)						
		募集人員	志 願 者	合 格 者	補 欠 合 格 者	入学手続 完了者	成蹊各学校 からの推薦 入 学 者	外 部 高 校 からの推 薦 入 学 者
大 学	経済学部	400	6,702	735	61	245	86	75
	工 学 部	280	5,086	496	268	267	28	69
	文 学 部	390	2,950	740	0	375	25	79
	法 学 部	350	6,987	744	138	329	28	63
	計	1,420	21,725	2,715	467	1,216	167	286
高 等 学 校	110	598	142	4	92	251		
中 学 校	110	515	115	2	108	131		
小 学 校	114	955	114	29	114	—		

(注) 高等学校・中学校・小学校における入学手続完了者数は、入学手続完了後の入学辞退者を除いた数

(海外帰国子女関係)

大学·高等学校

		志 願 者	合 格 者	入学手續 完了者
大 学	経済学部	18	7	2
	工 学 部	5	2	1
	文 学 部	33	8	1
	法 学 部	16	6	2
高 等 学 校		178	13	8

中学校（国際特別学級）

	志 願 者	合 格 者	入学手續 完了者
1 年	41	12	12
2 年	15	2	2
3 年	11	3	3

小学校 (国際特別学級)

	志 願 者	合 格 者	入学手續 完了者
5 年	23	10	10

役
職
員

(○印は卒業生)

帰京しました。今年の六年生は、運動会・夏の学校と、雨にたたられていましたが、冬の学校は、まずまずの天候で幸いでした。子どもたちは、ラング・ラウフ（歩くスキー）の経験をたいてそう喜んでいました。



◆卒業式

この訓練を機会に、小学校の防火体制が見直され、不備の点を改善しました。

三月十八日、第七十三回卒業式を挙
行しました。男女合わせて、百三十一
名の卒業生でした。本年は、卒業生全
員が、成蹊中学校に入学を許可された
ことを喜んでいます。

◆入学式

暖冬の影響で、本年は、桜の開花が早く、入学式まで、もつかと思われましたが、満開の桜と、好天に恵まれた入学式を行うことができました。新一年生百十四名、三年生六名、国際特別学級十名でした。

(小学校長 亀村五郎)

社団法人成蹊会からの
御寄附について

二月二十三日、火災避難訓練が行われました。本年は、武蔵野消防署のご協力によって、久しぶりにはしご車を見ることができました。高さ三十六メートルまで伸びるというはしが空に向かって伸びると、子どもたちは、驚いたり、感心したりでした。教員による初期消火訓練で、消火器を使っての実地も行われました。

このたび、社団法人成蹊会から成蹊学園史料館の建設諸費として、五千万円の御寄附をいただきました。

御芳志に対し、厚く御礼申し上げます。

[illegible]

成蹊会報告

昭和63年11月1日
平成元年4月30日

一、会 議

○理 事 会

第10回理事会(1・3・24)

- (1) 平成元年度成蹊会事業計画・収支予算案承認の件
- (2) 成蹊会評議員推薦の件

○同 窓 会

- (1) プレメ同窓会総会(63・11・12) (7) 法学部委員会(1・3・14)
- (2) 工学部同窓会総会(63・11・20) (8) 経済学部委員会(1・3・17)
- (3) 池袋同窓会総会(1・2・25) (9) 政治経済学部委員会(1・3・27)
- (4) 工学部幹事会(1・3・6) (10) 高校(旧制)委員会(1・4・24)
- (5) 高校(新制)委員会(1・3・7) (11) やよい会総会(1・4・28)
- (6) 文学部委員会(1・3・11)

○支 部 会

- (1) 九州支部会(1・4・15)

二、催 物

○経済学部20周年記念行事(63・11・20・京王プラザホテル)
経済学部・経済学部同窓会共催

平成元年度(春)叙勲受章者

勲二等旭日重光章

吉武 泰水(旧高11年卒) 神戸芸術工科大学学長

(敬称略・叙勲は勲三等以上・本会調べ)

○成蹊会50周年記念事業(1・4・30現在累計額) 単位: 万円

種 別 万円	個 人		法 人		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
1未満	15	6			15	6
1～2未満	776	780			776	780
2～5未満	259	624	1	3	260	627
5～10未満	57	300	5	27	62	327
10～30未満	63	656	6	96	69	752
30	3	90	3	90	6	180
40	1	40			1	40
50	1	50	2	100	3	150
60	1	60			1	60
100	7	700	5	500	12	1,200
合計	1,183	3,306	22	816	1,205	4,122

来会者 招待者108名・教職員48名・卒業生458名 計614名
○第66回枯林忌(1・2・25)

成蹊学園・成蹊会共催

墓 参 巣鴨染井墓地 追悼会 三菱スポーツセンター
来会者 中村家6名・学園21名・卒業生43名計70名
○第12回成蹊桜祭

場所 成蹊学園構内

主催 成蹊桜祭実行委員会 後援 成蹊学園・成蹊会

三、刊 行 物

- (1) 成蹊会誌第68号・勤務先別会員名簿(64・1・1)

四、寄 付 金 (別表)

平成元年6月1日
編集兼発行人 谷 岡 喜久蔵
発 行 所 社団法人 成蹊会
〒180 武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
電 話 0422-51-2244